

中学3年 国語「俳句の創作教室」

ねらい

様々な俳人の俳句集や歳時記などを用いて、語句・表現の仕方について調べ、調べたことを生かして俳句の創作を行う。

学習展開（2時間）

【1時間目】

- ① 自分が興味・関心の持っている季節、詠んでみたい対象(動物、植物、天気、行事など)を集める。
- ② 様々な俳人の俳句集から、心に響いた俳句、俳句の言葉遣いや表現をまとめる。
- ③ 歳時記から、季語・季節の詳しい意味・色・音・匂いなど、俳句の創作に必要となる事柄をまとめる。

【2時間目】

- ① 俳句で詠む季節、季語を決める。
- ② 俳句の主役を決め、様子や気持ちをまとめる。
- ③ 五・七・五の音に当てはめて、俳句を創作。
- ④ 俳句の創作で工夫したところをまとめる。



指導のポイント

- ① 実際に俳人の俳句集や歳時記を用いることで、語句や表現を豊かにできるようにする。
- ② 類語辞典や気持ちを表現する言葉が書かれている資料を用いて、似た意味を表す言葉でも、その時の自分の気持ちを表現する時にふさわしい言葉にはどのようなものがあるか語彙を豊かにして俳句の創作につなげられるようにする。
- ③ 俳句のテーマや季節が決まらない生徒には、俳人の俳句集や歳時記を通して決めていくよう助言。

学校図書館との関わり

図書館の俳人の俳句集、歳時記、類語辞典を用いて、生徒たちが俳句を創作する上での材料集めをできるようにした。資料を使うことで俳句の創作では、自分の感じたこと、伝えたいことに合う表現を選んで、創作している生徒が多かった。準備した資料の解説を司書が行うことで、適切に資料を活用することができた。